

～～第8786回～～

朝日岳（寸又峡）

～R1. 10. 27～

5:25、JR 安倍川駅東口を乗用車1台で出発、国道362号線を経由し、6:45寸又峡温泉駐車場(506m)に着いた。温泉街(538m)を抜け、グリーンシャワーロードに入って、猿並橋(吊橋)(440m)まで一旦下った。吊橋を渡ったところから山頂までは、登り一辺倒で1390m程度の標高差がある。まずは合地ボツ(1232m)まで急登が続く。南赤石林道(寸又左岸)(560m)に出会うと左に「登山道案内板」があった。「険しい山です。単独入山は避け経験者と同行を」の注意書きがあった。この案内板の先の「朝日岳登山口」から再び山道に入った。やせ尾根気味の所で、活発に動いている山ビルを一匹見つけた。合地ボツまでに、一箇所だけ、西側の展望が開けて、前黒法師岳の山頂や、大間ダム、夢の吊橋が見える場所があった。ザレ気味の場所を過ぎてから、左斜面を登り、西側の尾根(1030m)に移った。1150m付近から右に巻き、1200m付近で左に巻いて、合地ボツ(1232m)の尾根に移った。ボツとは、土地の猟師言葉で尾根のことらしい。ここから山頂までは、同じ尾根が続いた。1500m付近までは、ゆるやかな傾斜になり、足を休めることができた。合地ボツの先に、西側の展望所が2か所あった。1つ目は、木が邪魔してよく見えなかった。2つ目(1400m)も、木が邪魔して、黒法師岳と丸盆岳が見える程度だった。山頂方面が、木の間から、少し見えた。1500m付近から、山頂までの最後の急登が始まった。「栗山沢の頭」の標識が、1750m付近の尾根の途中にあったが、その西側の尾根の1800mのピークが、「頭」としては、正しいのではないかと思われた。1800m付近からは、傾斜がゆるやかになり、針葉樹の原生林の中を歩いて、山頂(1827m)に着いた。周りは樹林帯で、木の間から、北北東側に大無間山を確認できる程度で、展望はなかった。昼食後、同じルートを引き返した。急傾斜の下りが続くため、すべらないように、膝に負担がかからないように、静荷重静移動でゆっくり下りた。今回出会ったハイカーは、山頂手前で、男性のソロ2人とすれ違っただけだった。今回のルートは、樹林帯の中で展望がなく、急傾斜を上り下りする区間が長くて、辛抱が必要だった。しかし、その分、達成感を得ることができた山行であった。

参加者：4名（静岡西）

天気：曇後晴

地図：寸又峡温泉・井川

コースタイム：寸又峡温泉駐車場 651…猿並橋 712…南赤石林道出合 729…合地ボツ 922…栗山沢の頭 1104…朝日岳山頂 1122-45…栗山沢の頭 1155…合地ボツ 1251…南赤石林道出合 1431…猿並橋 1454…寸又峡温泉駐車場 1528

記録：静岡西支部 小長井

